



三田さくら物語

～思い出を未来につなぐ～

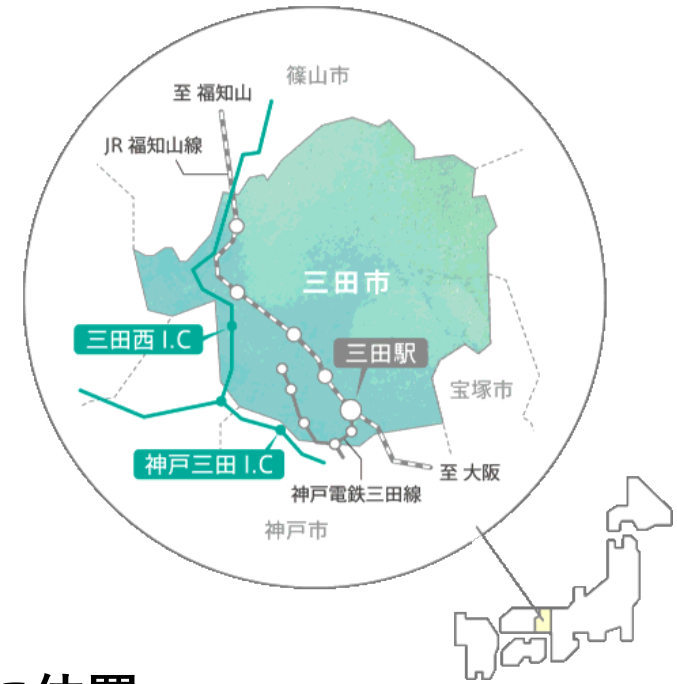


桜を持続可能なまちのシンボルとして次世代に伝えるプロジェクト



三田市の紹介

さんだし 三田市



- ・ 兵庫県南東部に位置
- ・ 大阪・神戸まで鉄道で40分圏、高速道路網の結節点
- ・ 総人口107,241人(令和5年11月末現在)
- ・ 特産物 三田肉、三田うどん 他
- ・ 武庫川が流れる

武庫川桜つつみ回廊

圧巻の眺めで人を魅了する武庫川沿い約4,000本・25kmの桜並木
30年の歳月をかけて三田の春の風物詩となっている
春には市内外から約2万人が花見に訪れる

背景

武庫川桜つつみ回廊

ソメイヨシノの健康寿命は60年
植樹から約30年の年月を経ており、
このまま時が過ぎればやがてこの
風景は失われてしまう

里山に自生するヤマザクラ

野生のヤマザクラは日当たりのよい
場所を好むため、里山の手入れが行
き届かないと姿を消してしまう

現状の課題

ソメイヨシノの
計画的な維持管理・
保全

ヤマザクラの在来種
保全と里山の管理

事業の目的



SDGs の考えに基づき、
桜のある風景を地域や市
民、企業の皆様とともに、
未来の子どもたちに伝えて
いくプロジェクト



事業内容

桜を「守る・楽しむ・育む・つなぐ」4つの方針

1 守る 維持管理・保全



定期的な
草刈・剪定作業
ほか

2 楽しむ まちの賑わい創出



↑→さんだ桜まつり

↓ノルディック・ウォーキング
フェスタ 満開の桜の下を歩く
参加者150名に及ぶ人気のイベント



3 育む 育苗や環境教育など

↓三田さくら里親会



↑里山で拾った
ヤマザクラの種



→県立人と自然の博物館と連携
して行うヤマザクラの苗づくり



↑樹木医と武庫川探検をする子どもたち

4 繋ぐ 桜を未来に繋ぐための 市民・事業者との共創

市内外からの様々なステークホルダーと共に、新たな価値観を創造していくための事業の推進体制を構築
クラウドファンディングやふるさと納税の活用

得られる成果等

桜を通じた
持続可能なまちの実現

美しい景観
の継承

まちの賑わ
いづくり

市民や企業
との協働

ほか



寄附のメリット

- 1 企業名のPR
市役所内デジタルサイネージ
市公式ホームページ



- 3 SDGsへの寄与による
企業のイメージ向上



- 2 市長からの感謝状贈呈、
報道機関への記者提供
(100万円以上)



- 4 担当課と必要に応じた
意見交換の場を設置

【ご連絡先】 兵庫県三田市 産業政策課

電話番号:079-559-5085 mail: sangyo@city.sanda.lg.jp

企業版ふるさと納税
のページはこちら↓



寄附募集プロジェクトは他にもニュータウン再生事業、健康推進事業、子ども向け社会教育講座（こうみん未来塾）等